

新年の抱負

新年明けましておめでとうございます。
本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

さて、2012年の新しい年を皆様はどのようにお迎えになられたでしょうか。

昨年は3月11日に発生した東日本大震災、それに伴う大津波、福島原子力発電所の放射能漏れなど、これまでの「想定」をはるかに上回る自然災害にみまわれました。また9月に発生した台風12号では奈良・和歌山県で大きな爪痕を残しました。改めて、犠牲になられた方々に哀悼の意を表しますとともに、今なお復旧復興に向けて頑張っておられる被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。今後とも私なりに出来る支援をしっかりと続けていきたいと思っています。

日本の国土は世界から見れば小さな島国です。それでいて火山噴火や地震の頻発する国土であります。改めて、将来発生すると予測されている南海地震への対策、そして原子力発電所の今後のあり方を含めたエネルギー政策の抜本的な見直が求められています。

一方、そうした取り組みをリードする中央政治は、民主党が歴史的な政権交代を果たしたものの、鳩山・菅内閣では国民の期待に十分こたえる事が出来ず世論の不満が高まり、その結果参議院選挙で民主党が惨敗、衆参両院で過半数が入れ替わる「ねじれ」国会となりました。こうした状況の下、新しく発足した野田内閣は、震災の復興復旧予算の成立や沖縄県の普天間基地の移設問題、TPPへの対応など喫緊の課題が山積しています。

今こそ民主党が主張してきた政治のリーダーシップで、国民への説明責任をしっかりと果たし、無駄を省き、政治への国民の信頼を取り戻して、こうした国難ともいえる状況を乗り越えていかなければなりません。「期待していたのに、全然変わらない、進んでいない」という市民のいらだちは昨年4月の統一自治体選挙でも、民主党への厳しい審判として示されました。民主党への失望は「大阪維新の会」への「期待」へと変わり、茨木市で



はかろうじて森みどり府議が議席を獲得する事が出来ましたが、府内では多くの民主党自治体議員が議席を失いました。

こうした民主党をはじめ既成政党への失望感は1月27日の府市ダブル選挙で頂点に達しました。

民主党は、昨年のこれら各選挙における民意をしっかりと受け止め、もう一度原点に立ち返って踏ん張れるかどうかの正念場の年だと思っています。

世界を見ると、昨年末に北朝鮮の金総書記が逝去し、今年にはアメリカの大統領選挙、ロシアの大統領選挙、韓国の大統領選挙、中国の人民代表大会、台湾の総統選挙と各国の指導者が相次いで代わりま

す。私たちの身近な茨木市でも4月に市長選挙が行われ来年1月には市議会議員選挙が行われます。

この数年、わがまちでは東芝やサッポロビール、フジテック、日東電工といった大企業が相次いで市外へ転出しました。そして、その跡地に立命館大学新キャンパス開学、JR（仮称）総持寺駅の建設、東芝工場跡にはスマートコミュニティーの建設がこれから始まろうとしています。

私にとりましては6期目の最終年度になります。昨年は体調を崩し大変ご心配をおかけいたしました。お陰さまで元気に新年を迎える事が出来ました。本年も皆様のご支援よろしく宜しくお願いいたします。

茨木市議会議員

中村信彦

中村信彦市議会レポート

12月市議会報告

新年明けましておめでとうございます。

今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

昨年は、東日本大震災、大津波、原発事故、台風十二号による被害など多くの人々が犠牲となり、いまだに復興のめどもたっていないところがほとんどです。そうした被災者の皆様に一日も早く元氣の持てる生活が戻りますよう、私も今後とも支援活動が続けてまいります。

さて、昨年十二月六日から十五日まで十二月定例市議会が開催されました。私、中村信彦も本会議、建設常任委員会で質疑をさせていただきました。詳しくは、茨木市のホームページで会議録をご覧いただきたいと思いますが、その質問の概要をご報告いたします。

この交差点に、信号機が設置される事になりました！

J R 駅前ビル

バスロータリー
(各バス乗り場)

植え込み

U F J 銀

歩道

J R 茨木 駅西側歩道

第65号



東芝大阪工場跡地に計画されているスマートコミュニティのイメージ図
敷地面積 15000 平方メートルです。

12月

市議会本会議

12月市議会（第7回定例会）が12月6日から15日まで開会されました。この議会で中村信彦は、6日の本会議で次のような質疑をしました。

(1) JR西口駅前バス停のバリアフリー化について
年内にもUFJ銀行前に信号がつくとのことであるが、人、自転車、自動車の流れがどのように変わるのか。バス停への平面移動（階段を使わなくてもいける）についてはどのように考えているのか。UFJ銀行側からバス停へつながるアクセスも検討するべきではないか。

(2) 障害者就労支援の取り組みについて

昨年から市庁内での障がい者就労体験が取り組まれているが実績はどうか。

総合評価入札制度で障害者雇用は進んだのか。今年の契約で新たに取入れられた「障がい者の就労移行の取り組み」についてその内容を問う。

(3)本市の個人情報の管理やサイバーテロ等への対策について

本市のシステムサーバーの対策はどのようになっているのか。ISO27001（情報セキュリティの国際基準）についての認識を問う。

各職員のPCデータの管理について。ノートパソコンに個人情報が保存されているのではないか。そうした個人情報はUSBメモリーなどで簡単に取り出せないようになっているのか。

(4) 消費生活センターの相談事業について

消費生活センターで行われてきた相談事業について、南館に移転するということであるが、その事によってこれまでの取り組みがどのように変わるのか。消費生活相談の特殊性と社会的役割の認識について問う。北摂の各市では、消費生活相談は駅近くの人通りの多い場所で取り組まれている。今後茨木市としても、駅前の再整備の時には検討するべきではないか。

建設常任委員会

12月9日に開かれた建設常任委員会で、中村信彦は次のような質問を行いました。

①歩車分離信号にはスクランブル式とセパレート式があるが、この場所（UFJ前）でセパレート方式の横断歩道設置を検討してはどうか。

②路線バスについて、GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停の表示板や携帯電話、パソコンに情報を提供するシステムを導入すれば障害者や高齢者にとって低床バスがいつそのバス停に着くかを事前に知ることができる。検討してはどうか。

③JRバスターミナル時刻表への照明灯の設置について検討はどこまで進んでいるのか。

④JR東口のバス停の問題について

もともとは路線バスのバス停を今の関空シャトルバス乗り場を想定していたのに、実際には予定外のところにバス停がある。この機会に、バス停の位置も検討してはどうか。

⑤立命館大学へのアクセスについてどのような整備をするのか。また、大学の開学による自転車の増加で生活道路では人との接触事故、幹線道路では車道での自動車との接触事故、歩道での接触事故など、そうした自転車への対策が必要ではないか。

⑥JR茨木駅南側に立命館大学の進出、仮称JR総持寺駅の開業など大型事業に着手するこのときに、歩行者空間を考えた市内公共交通体系の全体的な計画を持つべきではないか。

2012年 1月 1日

各 位

茨木市議会議員中村信彦後援会
会 長 井 上 博 昭

中村信彦後援会新年総会 および新年会のご案内

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は東日本大震災、津波、放射能汚染、台風12号など大きな災害が相次ぎました。そうした中で昨年の漢字一文字は「絆」でした。改めて、家族や地域、人と人との絆の大切さ、有り難さを感じた年でした。中村信彦市議会議員も一昨年から体調を崩し大変ご心配をおかけいたしました。昨年5月に仕事に復帰し新しい年を元気で迎える事が出来ました。今年は早いもので中村信彦も6期目の最終年となります。

つきましては中村信彦後援会新年総会を下記の日程で開催させていただきます。年始何かとご多忙中の事とは存じますが、万障お繰り合わせの上、また皆様お誘い合わせの上、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

■ 日 時 **1月24日(火)**

午後6時30分から

■ 場 所 **茨木市民会館 1階 ドリームホール**

■ 会 費 **3,500円**

*出欠につきましては、

電話(072-640-2000)かFAX(072-643-6339)に

て1月15日までにお返事を頂きますようお願い申し上げます。

記

氏名()住所()

電話番号()

新年総会に ・出席します ・欠席します

同伴者がいらっしゃれば人数、お名前をお書きください。

()人 名前()